

2020. 2. 28 発行

3月を目前にして、まだまだ寒い日が続いていますね。皆さんこんにちは！
SSH 文系グループです。今回は奥水孝仁と久武正馬と葛木里珠が担当します。
さて、今回のテーマは・・・

「サイエンスフェスタ」です！

1月25日(土)に山梨県立科学館で開催され、蕪崎高校だけではなく、県内の様々な高校が集まって研究の成果を互いに発表しあいました。他校の研究に触れることで、自分達の研究をさらにより良いものにするための様々なヒントを得ることが出来たと思います。

蕪崎高校の研究内容は以下のとおりです。

【実験】二足歩行ロボットを作る	蕪崎市のプラナリア類の生息状況
ダイヤモンドダストの発生条件	植物の成長を促進させるためには
光と植物の栄養	物質ごとの静電気量の変化
辛味成分による防カビ効果	化粧品が肌に与える影響
水中シャボン玉の研究Ⅲ	ポルターガイストによるドアの開閉の再現
触覚刺激による視覚マスキング	甘利山土壤環境調査 XI) I 1124
虹の発生条件	ゲンジボタルの遺伝子解析と分布域の確定 (その2)
炭酸飲料の炭酸を抜けなくする方法	バニラエッセンスによる家庭でのアリの退治
プラナリアの学習能力による負の光走性の改善	新幹線の空気抵抗について
ヒルの生態研究	ビタミンCの測定
階段の踊り場における共鳴の研究(その2)	賽の投げ方による出目の操作は可能か。
植物と塩分の関係性	Egg Drop
モル凝固点降下と溶質の分子量の関係について	

今回のサイエンスフェスタの感想を紹介します。

1年6組 山内愛実さん

研究発表を通して、難しさと楽しさの両方を感じました。他者に聞いてもらったことで、研究の欠点などが分かりました。また、他者の発表を聞いたことで、実験方法や発表の仕方など様々なことを学びました。この学びを次回の発表に活かしたいと思います。

1年6組 笹川稜平さん

今回の科学館での発表はとても有意義なものでした。初めて行う課題研究、その発表。緊張や不安もありましたが、グループ全員で協力して概要を伝えられたと思います。また、発表を終えて出てきた課題や研究へのアドバイスももらえたため、これらを次の発表や課題研究に役立てていきたいです。大変ではありましたが、自分達にとって意味のある発表となり、次に生きるものだと強く感じられた発表会でした。

2年5組 茅場広大さん

会場には蕪崎高校のものも含めたくさんの研究があった。他校の研究も興味深いものが多くあり、そのような研究について他の人と意見を交換することで知識や価値観を共有できて有意義な時間になった。自分の研究発表についても多くの人に発表することができて良かった。これからも人に発表することが多くあるので、研究を進めて良いものを発表できるように努力していきたい。

2年6組 藤森里珠さん

科学館の発表会では、他校を含めて多くの生徒が集い各々の研究発表をするため、自分達の発表で足りないところを再発見することが出来た。また、昨年を踏まえての実験を重ねたため、より良い発表ができ、成長を感じた。